

みまや通信

2022年2月
第15号



紹介

地域周産期母子医療センター特集

Contents

目次

- 地域周産期母子医療センター特集 …… 2~3
- 院内トピックス …… 9
- 病院情報(令和2年度の診療実績) …… 4~7
- 外来担当医一覧 …… 10~11
- 【不定期連載】数字でわかる!! …… 8
いわき市医療センター(第1回)



いわき市医療センター公式
Facebook

いわき市医療センター公式フェイスブックを開設しています!
ぜひ「いいね!」をお願いします!

地域周産期母子医療センター

～赤ちゃんとお母さんを守る～

地域周産期母子医療センター長
三瓶 稔

皆さんは、「周産期」という言葉をご存じでしょうか？

「周産期」とは、妊娠22週から出生後7日未満までの期間のことをいい、その前後を含む期間は、母子ともに異常が生じやすく、合併症妊娠や新生児仮死など、母体や胎児、新生児の生命に関わる事態が発生する可能性が高いと言われています。

このような不測の事態に備え、皆さんが安心して妊娠・出産・育児に臨めるよう、産科や小児科など関連する診療科が連携し、高度で専門的な医療を提供する「周産

期母子医療センター」の整備が全国で進められています。

「周産期母子医療センター」には、特に治療が困難な母子を受け入れる「総合周産期母子医療センター」と、各地域の拠点となる「地域周産期母子医療センター」があり、当センターは、浜通り地区唯一の「地域周産期母子医療センター」として、専門的な治療やケアが必要な妊婦さんを数多く受け入れています。

今回は、妊娠中に起こりやすい病気や、当センターの特色などについてご紹介いたします。

妊娠中に起こりやすい病気



早産・切迫早産

「早産」とは、日本では妊娠22週0日から妊娠36週6日までの出産のことをいい、全妊娠の約5%の割合で発生するとされています。この原因は、感染や体質によるところが多く、また、前置胎盤（胎盤が正常の場合よりも低い位置に付着し、子宮の出口にかかっていたり、覆っていたりする状態）や、胎児機能不全などの場合は、人工的に早産にせざるを得ないこともあります。

また「切迫早産」とは、早産となる危険性が高い状態をいい、子宮収縮により、子宮口が開き、赤ちゃんが出てきそうな状態のことです。このような場合には、子宮収縮を抑える治療が必要となり、症状によっては、入院していただき、子宮収縮抑制剤による点滴治療を行います。



個室（一般）



妊娠糖尿病

「妊娠糖尿病」とは、妊娠をきっかけに初めて発見、発症した糖の代謝異常（血糖値が異常に高くなる状態）をいい、全妊娠の約7～9%の割合で発生するとされています（妊娠前から糖尿病と診断されている場合等は含まれません）。血糖値のコントロールが悪いと、妊娠性高血圧症候群や羊水量の異常などが起こり、赤ちゃんには、巨大児、多血症、心臓肥大などが生じる可能性があります。

「妊娠糖尿病」と診断された場合には、血糖値の厳格な管理が必要となります。食事療法による治療が基本となりますが、上手く血糖値のコントロールが出来ない場合は、必要に応じてインスリンを投与します。



特別室



妊娠高血圧症候群

「妊娠高血圧症候群」とは、妊娠20週以降に、収縮期血圧が140mmHg以上、または拡張期血圧が90mmHg以上とすることをいい、全妊娠の約5%の割合で発生するとされています。特に妊娠34週未満で発症した場合、母体には肝臓や腎臓の機能障害、けいれん発作（子癇^{しこう}）、脳出血などを引き起こす可能性があるほか、赤ちゃんの発育が悪くなったり、胎盤が子宮の壁からはがれたりする（常位胎盤早期剥離）など、母体にも赤ちゃんにも大変な危険が生じます。

このため、重症の場合は入院していただき、安静状態を保ちながら、食事療法や血圧コントロール、子癇発作を予防するための薬物療法を行います。

また、この病気の根本治療は、妊娠の終了となるため、当センターでは、赤ちゃんの発育状況等を踏まえ、未熟児・新生児科と出産時期の検討も行います。



当センターの特色

患者さんの受入れ体制

地域のクリニックや病院を受診し、出産に伴うリスクが高いと判断された患者さん(高齢妊娠や若年妊娠、疾患のある妊婦さん、双胎(双子)等)のほか、地域の医療提供体制を踏まえ、通常分娩も受け入れています。

当センターには、産科病床(一般病床:30床)に加え、未熟児や先天的な疾患がある赤ちゃんを治療する新生児集中治療室(6床)や新生児回復室(12床)があります。また、小児病床(29床)が同じフロアに配置されているため、診療科間の連携がとりやすく、さらに、母体の集中管理が必要な場合は、ICU、HCU等で対応できる体制となっています。

産前・産後のサポート

産前からお母さんやお父さんを支援するため、希望者を対象に、助産師や栄養士が、赤ちゃんとの接し方や妊娠中の食事等について指導する「母親学級」を実施しています。(※現在は、新型コロナウイルス感染症による感染を防止するため、開催を中止しています。)

また産後は助産師が中心となり、授乳や沐浴の指導などを行うほか、退院後も、検診時に医師やスタッフが母子の状態を確認し、心身のサポートに努めています。

カンガルーケア

「カンガルーケア」とは、出産直後の親子の肌と肌の触れ合いのことをいい、当センターでは、出産直後(帝王切開の場合はできるだけ早期に)、お母さんの胸に赤ちゃんを抱いた状態でお過ごしいただいています。お母さんの声や匂いで、赤ちゃんも安心した顔を見せてくれ、また、お母さんにとっても、赤ちゃん誕生の喜びを改めて感じていただく時間となっています。



分娩室



沐浴の様子

当センターは、2002年4月に「地域周産期母子医療センター」の指定を受けてから、4月でちょうど20年を迎えます。これもひとえに、地域のクリニックや病院、福島県立医科大学附属病院など関係者の皆さまの多大なるご支援によるものと考えております。この場をお借りし、改めて感謝申し上げます。

今後におきましても、地域の周産期医療を守るため、職員一丸となって全力で取り組んでまいりますので、引き続き、皆さまのご支援ご協力をお願いいたします。

〈執筆者紹介〉 三瓶 稔



平成19年4月、総合磐城共立病院着任
平成25年4月、産婦人科 主任部長に就任

【資格】 日本産婦人科学会専門医

病院情報

(令和2年度の診療実績)

当センターでは、傷病名や診療行為に応じて、あらかじめ厚生労働省が定めた1日当たりの定額点数(診療報酬医科点数表)をもとに、入院医療費を算定する「DPC制度(診断群分類包括評価方式)」を平成22年4月から導入しています。このDPC制度は、大学病院や急性期病院を中心に導入され、その数は全国で1,757施設(令和2年4月現在)に上ります。また当センターを含め各医療機関では、入院患者さんごとに「診断名」「治療方法」「入院日数」などの情報を体系的

に整備し、より良い医療を提供していくため、これらのデータを活用しています。

そこで今回は、当センターにおける令和2年度の診療実績について、ほんの一部ですが皆さまにご紹介します。なお、ホームページにも詳しい情報を掲載しておりますので是非ご覧ください。



病院情報の公表

URL: http://iwaki-city-medical-center.jp/hospital/byouinjyouho_kouhyou.html

- 名称** ……国が診療報酬医科点数表で定める手術の名称です。
- 患者数** ……手術を受けた患者さんの人数です。
- 平均術前日数** ……手術日前の平均入院期間です。
- 平均術後日数** ……手術日後の平均入院期間です。
- 転院率** ……手術を受けた患者さんが他の医療機関等に転院した割合です。
- 平均年齢** ……手術を受けた患者さんの平均年齢です。

消化器内科

名称	患者数(人)	平均術前日数(日)	平均術後日数(日)	転院率(%)	平均年齢(才)
内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm未満)等	95	1.61	2.76	1.05	69.67
内視鏡的消化管止血術	66	0.67	12.52	4.55	65.82
内視鏡的乳頭切開術(乳頭括約筋切開のみ)	61	4.72	12.39	6.56	70.74

最も多い手術は、大腸ポリープの患者さんに対する「内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術」です。当科では、上部消化管、下部消化管、肝疾患、胆膵疾患と各パートに指導的な人材を配置し、それぞれの専門的かつ最先端の手技を生かし、互いに協力しながら診療を行っています。

循環器内科

名称	患者数(人)	平均術前日数(日)	平均術後日数(日)	転院率(%)	平均年齢(才)
四肢の血管拡張術・血栓除去術等	218	1.16	3.90	3.21	72.97
経皮的冠動脈ステント留置術(その他)	185	2.92	3.85	2.70	70.72
ペースメーカー移植術(経静脈電極)	88	1.76	9.20	5.68	77.85

当科では、市内の医療機関の先生方と連携し、患者さんの症状や状態に応じ、互いに役割分担を行うことで、市全体を包む循環器診療センターのように機能していくことを目指しています。

なお、診療実績の詳細なデータについては、当科ホームページをご覧ください。

透析センター外科

名称	患者数(人)	平均術前日数(日)	平均術後日数(日)	転院率(%)	平均年齢(才)
経皮的シャント拡張術・血栓除去術(初回)等	121	0.17	1.41	1.65	67.75
経皮的シャント拡張術・血栓除去術(初回実施後3月以内に実施)	24	0.17	1.13	0.00	69.58
末梢動静脈ろう増設術(内シャント増設術)(単純)	15	0.80	2.20	0.00	71.53

最も多い手術は「経皮的シャント拡張術」です。「シャント」とは、透析を行う際に十分な量の血液を確保できるよう、動脈と静脈をつなぎ合わせた血管のことです。

当センターでは、患者さんの負担を軽減するため、シャントへの針の留置が難しい場合には、超音波を使い、留置の成功率を高めています。

小児外科

名称	患者数 (人)	平均術前 日数(日)	平均術後 日数(日)	転院率 (%)	平均年齢 (才)
ヘルニア手術 (鼠径ヘルニア)	59	1.00	1.00	0.00	2.92
停留精巣固定術	18	1.00	1.00	0.00	2.61
ヘルニア手術 (臍ヘルニア)	15	1.00	1.00	0.00	2.40

「鼠径ヘルニア手術」が最も多く、次いで「停留精巣固定術」「臍ヘルニア手術」となっています。「臍ヘルニア」とは「おへそ」が突出したもので、いわゆる「でべそ」のことです。

当科は、院内の産科や未熟児新生児科、小児科等に加え、大学病院やこども病院など、より高次な専門施設とも連携し、お子さんが最新かつ最良の医療を受けられるよう取り組んでいます。

外科

名称	患者数 (人)	平均術前 日数(日)	平均術後 日数(日)	転院率 (%)	平均年齢 (才)
腹腔鏡下胆嚢摘出術	107	1.51	4.56	1.04	60.67
ヘルニア手術 (鼠径ヘルニア)	73	1.34	2.83	0.00	71.14
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍 切除術	54	3.30	11.00	0.00	72.20

最も多い手術は「腹腔鏡下胆嚢摘出術」です。お腹に小さな穴を開けて行う腹腔鏡手術は、開腹手術と比べて、傷が小さく、痛みが少ないのが特徴です。

入院後は「外科医チーム」が担当しますが、生活習慣病、呼吸器疾患、心疾患、腎疾患など他の疾患を有する患者さんも安心して治療が受けられるよう、関連する診療科と連携しながら対応します。

また、2021年1月には、日本膵臓学会認定指導施設の認定を受けました。肝臓・胆道・膵臓疾患の診療施設として、この日本膵臓学会認定指導施設、日本胆道学会認定指導施設、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医制度指定研修施設の3つを認定されたのは、福島県内で3施設目です。

※ホームページ掲載データとは集積方法が異なるため、数値に差異があります。

形成外科

名称	患者数 (人)	平均術前 日数(日)	平均術後 日数(日)	転院率 (%)	平均年齢 (才)
四肢切断術(下腿)等	16	5.31	26.69	68.75	71.44
皮膚、皮下腫瘍摘出術 (露出部)(長径2cm未満)等	11	1.00	0.09	0.00	6.73

動脈硬化症の患者さんに対する「四肢切断術」が最も多く、2番目に多いのは、皮下腫瘍に対する「皮下腫瘍摘出術」です。当センターは数多くの手術を行っていますが、形成外科の手術は、体の部位ごとに細かく分類されており、また当センターでは、様々な種類の手術を行っているため、個別の手術件数は、少なく見える傾向にあります。

脳神経外科

名称	患者数 (人)	平均術前 日数(日)	平均術後 日数(日)	転院率 (%)	平均年齢 (才)
慢性硬膜外血腫穿孔 洗浄術	44	2.55	13.07	45.45	80.70
脳血管内手術 (コイル塞栓)(1箇所)等	26	0.81	24.27	38.46	61.35
穿頭脳室ドレナージ術	20	0.40	16.75	50.00	65.40

最も多い手術は、硬膜外血腫に対する「慢性硬膜外血腫穿孔洗浄術」です。硬膜外血腫は脳の萎縮がみられる高齢者に多く、当センターにおいても患者さんの平均年齢は高めです。また「脳血管内手術」は、くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤(脳動脈にできたコブ)に「プラチナコイル(プラチナ製の糸)」を挿入し、血液の流れを遮断することで、動脈瘤の破裂を防ぐ治療です。

また「穿頭脳室ドレナージ」は、くも膜下出血や脳出血により、脳脊髄液の流れが妨げられ、水頭症(脳脊髄液が過剰に貯留し脳室が拡大した状態)が生じた場合に行います。

当科は、頭部外傷や脳血管障害(主として出血性疾患)等に対する急性期医療を担っており、日本脳神経外科学会の専門医指定訓練施設にも認定されています。

心臓血管外科

名称	患者数 (人)	平均術前 日数(日)	平均術後 日数(日)	転院率 (%)	平均年齢 (才)
経カテーテル大動脈弁置換術 (経皮的動脈弁置換術)	32	9.16	11.44	6.25	84.22
ステントグラフト内挿術 (腹部大動脈)	27	3.04	11.85	7.41	76.63
大動脈瘤切除術 (腹部大動脈(分枝血管の再建))	22	3.86	14.77	4.55	73.95

大動脈瘤(血管のコブ)を治す手術、3番目の「大動脈瘤切除術」は、開腹手術により大動脈瘤を切除する手術です。当科では、患者さんの身体的、精神的負担を最大限に減らせるよう取り組んでいます。

最も多い手術は「経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)」です。「TAVI」は、心臓が動いている状態のまま、太ももの付け根等からカテーテルを血管内に挿入し、人工弁を患者さんの心臓に装着する手術です。この手術は、開胸手術と比べて、身体への負担が少ないのが特徴で、2013年10月に日本で認可されて以降、当センターでも積極的に行っています。2番目に多い「ステントグラフト内挿術」は、足の付け根から

整形外科

名称	患者数 (人)	平均術前 日数(日)	平均術後 日数(日)	転院率 (%)	平均年齢 (才)
人工関節置換術(股)等	336	1.55	18.04	4.17	70.58
骨折観血的手術(大腿)等	157	4.21	14.36	55.41	75.32
骨折観血的手術(前腕)等	116	2.24	10.06	12.07	56.05

質、量とも全国的にも高いレベルにあり、また、四肢脊椎外傷による緊急手術は、麻酔科をはじめ多くの診療科と連携し実施しています。

術後のリハビリテーションも、院内はもとより、地域の多くの医療機関にご協力いただきながら実施しています。

最も多い手術は、主に股関節症に対する「人工関節置換術」です。2番目と3番目に多い手術は、大腿部と前腕の骨折に対する手術です。

当科の手術の特徴は、専門医による関節鏡(内視鏡)を使った各関節の手術や、人工関節手術(股、膝、肩関節)に加え、地域の三次救急を担うべく四肢脊椎外傷の緊急手術を実施している点です。

日常生活の質を大きく改善する人工関節手術は、

耳鼻咽喉科

名称	患者数 (人)	平均術前 日数(日)	平均術後 日数(日)	転院率 (%)	平均年齢 (才)
口蓋扁桃手術(摘出)等	59	1.05	7.10	0.00	24.14
内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅱ型 (選択的(複数洞)副鼻腔)	40	1.25	5.60	0.00	54.08
扁桃周囲膿瘍切開術	37	0.16	4.70	0.00	42.81

また、痙攣性発声障害の治療(ボトックス)や、声帯麻痺に対する音声改善術など音声障害の診療も行っています。悪性疾患の治療自体は行っていませんが、検査と診断を行い、患者さんと相談して適切な専門施設に紹介し治療へとつなげています。

最も多い手術は、若年層の慢性扁桃炎に対する「口蓋扁桃手術」です。また、2番目に多い「内視鏡下鼻・副鼻腔手術」は副鼻腔炎に対する内視鏡の手術です。

当科では、難聴、めまい、中耳疾患(真珠腫性中耳炎・滲出性中耳炎など)、顔面神経麻痺、副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、声帯ポリープ、唾液腺腫瘍、扁桃炎などの良性疾患の診療を行っています。

産婦人科

名称	患者数 (人)	平均術前 日数(日)	平均術後 日数(日)	転院率 (%)	平均年齢 (才)
帝王切開術(選択切開)	138	3.09	6.28	0.00	34.24
帝王切開術(緊急切開)等	104	3.94	6.72	0.00	32.40
子宮全摘術	56	2.29	7.63	0.00	50.13

出産に関する「帝王切開術」が1番目と2番目を占め、主に子宮筋腫の患者さんに対する「子宮全摘術」が3番目に多くなっています。

当科では、本市産婦人科の基幹病院として、関連施設と連携しながら、最善の医療提供に努めています。

泌尿器科

名称	患者数 (人)	平均術前 日数(日)	平均術後 日数(日)	転院率 (%)	平均年齢 (才)
膀胱悪性腫瘍手術 (経尿道的手術) (電解質溶液利用)	52	2.46	4.15	1.92	73.25
経尿道的尿管ステント 留置術	30	0.30	13.37	16.67	65.90
体外衝撃波腎・ 尿管結石破碎術	19	0.00	1.84	0.00	61.11

最も多い手術は「経尿道的膀胱腫瘍切除術(電解質溶液利用)」です。この手術は、尿道を通じて、内視鏡を膀胱内に挿入し、腫瘍を電気メスで削り取る手術です。2番目に多い「経尿道的尿管ステント留置術」は、同じく内視鏡を通して、尿管内にカテーテルを留置する治療です。この手術は、結石や腫瘍、炎症などで狭くなったり、閉塞してしまった尿管の状態を改善するために実施します。3番目に多い「体外衝撃波腎・尿管結石破碎術」は、体外で発生させた強力な衝撃波を体内の尿路結石のある部位に集中させ、結石を破碎する手術です。

当科では、ハード・ソフトの両面から医療の充実に努め、患者さんにより良い医療を提供してまいりたいと考えています。

呼吸器外科

名称	患者数 (人)	平均術前 日数(日)	平均術後 日数(日)	転院率 (%)	平均年齢 (才)
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 (肺葉切除又は1肺葉を 超える)	16	1.75	6.56	0.00	71.06
胸腔鏡下肺切除術 (肺嚢胞手術 (楔状部分切除))等	16	9.13	5.94	6.25	40.06

最も多い手術は「胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術」です。この手術は、肺がんに対して胸腔鏡を使用し、モニターで観察しながら肺葉(肺は右側が上中下、左側が上下に分かれており、そのブロックのことを「肺葉」といいます)を切除するものです。2番目の「胸腔鏡下肺切除術」は、気胸(肺に穴があき空気が漏れることで肺がしぼむ病気)に対する手術です。

当科では、手術はもちろんのこと、薬物治療にも専門スタッフが対応しています。また、悪性腫瘍の患者さんには、緩和ケア内科と連携し、患者さんやご家族のご希望に沿った生活を支援しています。

終わりに

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により、急を要しないと医師が判断する手術等の実施を延期するよう、国から要請があるなど、大きな変化があった1年間でした。

このような状況の中、当センターにおきましては、感染症への対応と、高度急性期医療や周産期医療等

の通常医療との両立を図るため、常に感染症の拡大状況等を注視し、その変化に合わせて医療提供体制を見直す等、バランスに留意した病院運営に努めてまいりました。

今後も地域の中核病院としての役割を果たすため、当センターは全力を尽くしてまいりますので、引き続き、皆さまのご支援ご協力をお願いいたします。

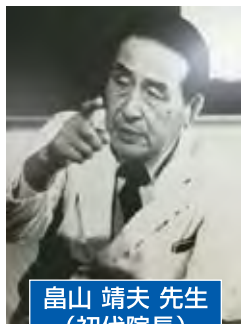
数字でわかる!! いわき市医療センター

当センターは、地域の中核病院として皆さまから信頼され、進歩し続ける病院を目指し、日々取り組んでいます。そんな我々「いわき市医療センター」を皆さまにもっと知っていただくため、本号から数字にまつわるお話を紹介していきます。

「1」 「新たな第一歩」



磐城共立病院の開院の様子
(下段は開院式で挨拶する畠山院長)



畠山 靖夫 先生
(初代院長)



畠山先生の外来診察の様子
(昭和50年頃撮影)

昭和25年11月1日に、当センターの前身である「磐城共立病院」が開設されました。開設当時は、本市の名誉市民第1号となった初代院長の「畠山靖夫」先生を先頭に、医師5名を含む職員33名、診療科は「内科」「外科」「産婦人科」の3科、入院病床は「50床」の体制で、**第一歩**を踏み出しました。

なお、当センターの基本理念である「慈心妙手」(相手を慈しみ思いやる気持ちで患者さんに接し、優れた技術で診療、治療を行うこと)は、開設30周年に当たる昭和55年11月に、畠山先生のもと制定され、その精神は、現在まで大切に受け継がれています。

「2」 「放射線治療室のナゾ」



現在、稼働している放射線治療機器「True Beam(バリアン製)」



放射線治療室に隣接する「通称:第2リニアック治療室」



当センターは、平成26年8月に厚生労働省から「地域がん診療連携拠点病院」に指定され、より質の高いがん治療を行うため、新病院の開院時には、高性能な放射線治療機器を導入しました。

この放射線治療機器は、1階の「リニアック治療室」に設置していますが、その隣には、通称「**第2リニアック治療室**」と呼ばれる空き部屋があります。「**2部屋**も整備したのになぜ使わないの?」と疑問に感じる方もいらっしゃると思いますが、これには深い理由があるのです。

老朽化した放射線治療機器を交換する場合、機器の設置には、かなりの期間を要するため、1部屋しかないと、患者さんの治療ができない期間が生じてしまいます。このため、新しい機器をすぐに設置・稼働できるよう、治療室を**2部屋**整備し、一方を空き部屋として確保しているのです。

なお現在、**第2リニアック治療室**は、医療資器材の倉庫として有効活用しています。



院内トピックス

情報

研修医マッチング(令和4年度 研修開始)結果発表

令和3年10月、令和4年4月採用研修医のマッチング(組み合わせ)発表がありました。当センターでは、医科12名、歯科1名を募集し、3年連続のフルマッチとなりました。

日頃より熱心にご指導くださる院内外の指導医の先生方に改めて御礼申し上げます。

当センターは、今後も多くの医学生・歯学生から研修の場として選ばれるよう取り組んでまいります。



情報

福島工業高等専門学校と連携協力に関する協定締結式を行いました

令和3年11月22日(月)、医療センターきょうりつ講堂において、福島工業高等専門学校と当センターとの連携協力に関する協定締結式を行いました。

当センターでは、これまでも、福島工業高等専門学校から看護専門学校の授業に講師を派遣いただくなど、協力関係にありましたが、より一層連携を深め、「人材育成」や「地域社会の発展」に貢献していくため、このたび、協定を締結することとなりました。

今後は、人事交流等を通して、長年にわたり培ってきた人材や技術等を互いに活用し、人材育成や医療、健康など幅広い分野で、地域社会に貢献してまいります。



えん

「サポートサロン えん」だより

がん患者さんやご家族が、ゆったりとくつろぎ、安らげる場を提供し、また必要な支援につなげるため、当センター1階に「サポートサロン えん」を設置しています。

こちらでは、来室された方々のニーズに合わせ、必要な情報を提供できるように冊子やパンフレット等を備えています。なかでも、「がん患者・家族のための福島県がんサポートブック」は、県内のがん診療連携拠点病院の情報はじめ、働く方のための相談・支援に関する情報や県内の



患者会などの情報が一冊にまとまっています。この冊子は、福島県と福島県がん診療連携協議会が作成したもので、「県内の情報が載っていて参考になる」「知りたい情報がまとまっている」などご好評をいただいています。

サロンへお立ち寄りの際はぜひお手にとってご覧ください。配布は、がん相談支援センターでも行っています。

サポートサロンえんに関するお問い合わせは、がん相談支援センター(26-3117)まで、お願いします。

外来担当医一覧

区分	ブース名	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
<p>◆ 内科 ※IBD=炎症性腸疾患 糖=糖尿病科外来 内=内分分泌科外来 ※一つの欄に複数の名前がある場合は、記載の医師が当番制により担当します。 ※禁煙外来は、患者サポートセンターを通しての予約となります。</p>											
内科一般(新)	E09	油井 満		油井 満	油井 満 禁煙外来14:00	(当番制)			油井 満		(当番制)
消化器内科	E08	高橋 成一		池谷 伸一 須貝 吉樹 (交代)		越後 紘治 西丸 響 (交代)		高井 智 猪狩 剛 (交代)		土佐 正規 池田 智之 (交代)	
	F31										
	E11	池田 智之				中山 晴夫		池田 智之		上野 孝治	
	E12	須貝 吉樹 (隔週)		高井 智		須貝 吉樹		池谷 伸一		越後 紘治	
	E13				土佐 正規 IBD専門		高橋 成一 IBD専門		西丸 響		猪狩 剛
循環器内科	F22	山本 義人 (新患)		瀬川 将人	第1・3 ペースメーカー	山下 文男		山本 義人 (第1・3)	山本 義人 (第2・4)14:00~		埴 健一郎
	F23	工藤 俊		杉 正文	第2・4 ICD	崔 元吉		杉 正文 (新患)			野木 正道
	F24	草野 亮太				土屋 聡		渡邊 俊介			千葉 直真
糖尿病・内分泌科	E15										渡辺 崇 (糖)
	E17	小野 利夫 (糖)		小野 利夫 (糖・内)		渡辺 崇 (糖)		小野 利夫 (糖)			大 学 (交代)(糖)
	E18				渡辺 崇 (再診のみ)(糖)		渡辺 崇 (糖)				齋藤 悠 (糖)
血液内科	F32	阿久津和子		齋 敏明		濱崎 洋一		濱崎 洋一	阿久津 和子 14:00~		齋 敏明
脳神経内科	E15			大 学							
心療内科	F25	岩橋 成壽		岩橋 成壽		岩橋 成壽		岩橋 成壽			岩橋 成壽

ブース名	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
<p>◆ 小児科 【午後(専門外来診察)は完全予約制】 ※循=循環器 血=血液 内=内分分泌 ア=アレルギー 新=新生児発達 1=1ヶ月児健診 予=予防接種 ※循=循環器 腎=腎臓 神=神経</p>											
B41	鈴木 潤	森島 重弘	鈴木 潤	(交代)	鈴木 潤	遠藤 起生	鈴木 潤	遠藤 起生	鈴木 潤		
B52	埴 淳美	石井 まり	野寺 真樹	埴 淳美	野寺 真樹	野寺 真樹	野寺 真樹	藤江 弘美	藤江 弘美	神	
B53	(交代)	吉原 康	(交代)		大原 信一郎	腎内	(交代)	埴 淳美	野寺 真樹	吉原 康	
B54					(交代)	鈴木 保志朗			(交代)		
B43				本田 義信	新					本田 義信	
<p>◆ 小児外科 ※月曜日午後の診察は、午前中の手術の状況により休診する場合があります。</p>											
B44	(手術)	神山 隆道	佐野 信行		(手術)	神山 隆道	神山 隆道		(手術)	佐野 信行	
B45		佐野 信行	尾形 誠弥			尾形 誠弥	尾形 誠弥			尾形 誠弥	
<p>◆ 皮膚科 ※火曜日の診察は10:00からになります。</p>											
F42			非常勤	非常勤	非常勤						
<p>◆ 心臓血管外科</p>											
F33	遠藤 由樹	入江 嘉仁		入江 嘉仁	遠藤 由樹						
F34	中野渡 仁	深田 靖久			北川 彰信	深田 靖久					
<p>◆ 呼吸器科 ※内=内科 外=外科 ※呼吸器内科は、全て再来診察のみとなります。</p>											
B22			(手術)				福原 光朗(外)				
B23	高木 玄教(外)								大 学(外) (院内紹介)月1回		
B24	大 学(外) (院内紹介)月1回										
B25	大 学(内)								大 学(内)		
B26			大沼 菊夫(内)				大沼 菊夫(内)				
<p>◆ 外科</p>											
A16	新谷 史明		川口 信哉		川口 信哉		白相 悟		吉田 寛		
A17	小林 直哉		白相 悟		根本 紀子 乳腺		河野 えみ子		永井 有		
A18			吉田 寛				佃 和彦				
A19	根本 紀子 乳腺				九里 孝雄 甲状腺		乳腺外来・非常勤 (第2・4)		根本 紀子 乳腺		
A14			土師 陽一				小久保 翔志				
A13			藤川 奈々子				藤川 奈々子				

◎学会や緊急手術等により急遽変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

◎当センターでは予約診察を行っており、表中の 部は予約優先（一部完全予約制）となります。詳細は各診療科でご確認ください。

令和4年2月～

 = 予約診察

F-2	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
◆ 形成外科	※形成外科は日にち予約となります。										
F36		檜垣 仁志		檜垣 仁志		(当番制) 14:00～		檜垣 仁志		明星 里沙	
F37		前田 藍		明星 里沙				明星 里沙		前田 藍	
F38		埴原 弘道		前田 藍				岡田 朋之		埴原 弘道	
F42		岡田 朋之						埴原 弘道			
◆ 産婦人科	※初診の場合は、かかりつけ医からの紹介状が必要です。										
F51	(交代)		金杉 優		西山 浩		西山 浩		西山 浩		
F55	(交代)		本多 つよし		本多 つよし		本多 つよし		本多 つよし		
F62	(交代)		大関 健治		金杉 優		大関 健治		大関 健治		
F64	三瓶 稔		清野 恭子	1ヶ月健診	三瓶 稔		清野 恭子		三瓶 稔		
◆ 整形外科	※脊=脊椎 外=外傷・骨折 手=手・外傷 足=足・外傷 肘=肘・外傷 肩=肩・股関節 股=足・股関節 膝=膝関節・スポーツ ス=スポーツ 腫=腫瘍 ※初診の場合は、かかりつけ医からの紹介状が必要です。										
A01	鎌田 久美 股 一 安永 亨 膝 一 菅野 敦子 滑液囊炎 一 安永 亨 膝 一 長島 智春 手 外 安永 亨 膝 一	15:00～16:00	ス	(第2・4)	肘 外傷 一 笹島 功一 外 足 一 江尻 荘一 手 痺 一 相澤 利武 肩 股 一 大泉 樹 肩 股 一 (交代) 鈴木 丈夫 手 外 一 中川 理久 一 一	肘 外傷 一 笹島 功一 外 足 一 江尻 荘一 手 痺 一 相澤 利武 肩 股 一 鎌田 久美 股 一 (交代) 中川 理久 一 一	肘 外傷 一 笹島 功一 外 足 一 江尻 荘一 手 痺 一 相澤 利武 肩 股 一 利木 成広 手 外 一 (交代) 中川 理久 一 一	肘 外傷 一 笹島 功一 外 足 一 江尻 荘一 手 痺 一 相澤 利武 肩 股 一 利木 成広 手 外 一 (交代) 中川 理久 一 一	肘 外傷 一 笹島 功一 外 足 一 江尻 荘一 手 痺 一 相澤 利武 肩 股 一 利木 成広 手 外 一 (交代) 中川 理久 一 一	肘 外傷 一 笹島 功一 外 足 一 江尻 荘一 手 痺 一 相澤 利武 肩 股 一 利木 成広 手 外 一 (交代) 中川 理久 一 一	肘 外傷 一 笹島 功一 外 足 一 江尻 荘一 手 痺 一 相澤 利武 肩 股 一 利木 成広 手 外 一 (交代) 中川 理久 一 一
A02	後藤 悠樹 一 一 長島 智春 手 外 一 笹島 功一 外 足 一 江尻 荘一 手 痺 一 相澤 利武 肩 股 一 大泉 樹 肩 股 一 (交代) 鈴木 丈夫 手 外 一 中川 理久 一 一										
A06	中村 正隆 脊 一 江尻 荘一 手 痺 一 相澤 利武 肩 股 一 大泉 樹 肩 股 一 (交代) 鈴木 丈夫 手 外 一 中川 理久 一 一										
A07	相澤 利武 肩 股 一 大泉 樹 肩 股 一 (交代) 鈴木 丈夫 手 外 一 中川 理久 一 一										
A08	大泉 樹 肩 股 一 鈴木 丈夫 手 外 一 中川 理久 一 一										
A09	(交代)		鈴木 丈夫 手 外 一 中川 理久 一 一								
A14					中川 理久 一 一						
◆ 脳神経外科											
A12	鈴木 保宏		(手術)		鈴木 保宏		(手術)		鈴木 保宏		
A13	石田 朋久		(手術)		石田 朋久		(手術)		石田 朋久		
◆ 泌尿器科	※水曜日は、新患の診察は行っておりません。										
B31	(交代)		徳山 聡		徳山 聡	(手術)		徳山 聡		井上 拓也	
B32	(手術)		上野 誠司		竹田 篤史	(手術)		上野 誠司		上野 誠司	
B33	(手術)		竹田 篤史		上野 誠司 井上 拓也 (交代)	(手術)		井上 拓也		竹田 篤史	
◆ 眼科	※毎月第1月曜日は小児外来のみとなります。										
E04		大学			大学		非常勤		大学		
E03	検査		検査		検査		検査		検査		
E02										検査	
◆ 耳鼻咽喉科【完全予約制】											
G02	西條 聡		西條 聡				西條 聡				
G03	久岡 巧麻	腫瘍外来	久岡 巧麻	検査	(交代)		久岡 巧麻	処置	(交代)		
G04	鷗沼 むつ貴		鷗沼 むつ貴				鷗沼 むつ貴	小手術			
G05	芦澤 翔平		芦澤 翔平				芦澤 翔平				
◆ 歯科口腔外科	※午後は予約診療となります。										
G14	(交代)	(小手術)	(手術)		内藤 博之	(小手術)		佐藤 浩子	(小手術)	(交代)	
G17					佐藤 浩子			内藤 博之		(小手術)	
◆ 麻酔科	※01=術前評価 02=ペインクリニック ※当番制=麻酔科医師が当番制で担当します。 ※月～木曜は、日にち予約となります。										
4階 01		術前評価(交代)	術前評価(交代)		術前評価(交代)		術前評価(交代)		術前評価(交代)		
4階 02										飯嶋 千裕	
◆ 放射線治療科											
04		藤本 圭介	藤本 圭介		藤本 圭介	非常勤(新患)	非常勤(再診)	藤本 圭介			
◆ 緩和ケア内科											
A18		阿部 道夫								池谷 伸一	
A12							渡邊 睦弥				
◆ 透析センター外科											
F31			小柴 貴明					小柴 貴明			



編集後記

当センターでは、12月中旬から、病院職員と民間事業者の従業員約1,700人を対象に、3回目の新型コロナウイルスワクチン接種を開始しています。

これまで約700人に対して接種を完了し、年度末までには、希望者全員に接種が完了する見込みです。

新型コロナウイルス感染症は、まだまだ終息の見えない状況が続いていますが、ワクチン接種もさることながら、「手洗い」や「うがい」、「手指消毒」といった基本的な対策が有効とされていることから、今後も気を緩めることなく、感染管理を徹底してまいります。

基本理念

「慈心妙手」

わたしたちは、市民の健康と生命を守るため、安全で安心な医療を提供し、地域から信頼され、進歩し続ける病院を目指します。

「慈心」

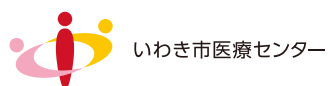
(じしん: 相手を慈しみ思いやる気持ち)で患者さんに接し、

「妙手」

(みょうしゅ: 優れた医療技術)で診察、治療を行うことです。

基本方針

1. 浜通り地区の中核病院としての役割を担います。
2. 地域と連携し、高度医療、先進医療、救急医療の充実に努めます。
3. 明日を担う医療従事者を育成します。
4. 患者さんと職員との信頼関係を築くことに努めます。
5. 安全で安心な医療を提供するため「チーム医療」を実践します。
6. 自治体病院として良質な医療の提供と健全経営に努めます。



いわき市医療センター

みまや通信

●編集・発行／広報委員会 ●発行責任者／相澤 利武
〒973-8555 福島県いわき市内郷御厩町久世原16
TEL 0246-26-3151(代)
FAX 0246-26-2404(経営企画課)
<http://iwaki-city-medical-center.jp/>
Email:kyoritsu@iwaki-city-medical-center.jp